

平成22年度

野菜・花き試験計画書

仙台市経済局農林部

《 目 次 》

(野 菜)

品種比較試験

ちぢみホウレンソウの播種期別品種比較

- (1) 9月下旬播種 1
- (2) 10月上旬播種 2

ちゃ豆の品種比較

- (1) 極早生種の比較 3
- (2) 中生種の比較 4

短根ごぼうの品種比較 5

レタスの品種比較

- (1) 7月下旬播種 6
- (2) 8月上旬播種 7

栽培技術に関する試験

仙台伝統野菜の栽培技術の確立

- (1) 仙台芭蕉菜の播種期別の収穫期把握 8
- (2) 仙台芭蕉菜の夏穫り栽培実証 9

レタスのマルチ効果 10

秋穫りキャベツの施肥モデル試験

- (1) 土壌分析に基づく施肥モデル 11
- (2) 肥効調節型被覆肥料の施肥モデル 12

展示栽培

- ミニ野菜の品目展示 13
- 仙台伝統野菜の品目展示 14
- 新品目の展示栽培 15

(花 き)

切り花に関する試験

トルコギキョウの播種期別品種比較

- (1) 5月上旬播種 16
- (2) 5月中旬播種 17

ストックの播種期別品種比較

- (1) 7月中旬播種 18
- (2) 7月下旬播種 19

ストックの開花促進技術

- (1) 7月中旬播種 20
- (2) 7月下旬播種 21

展示栽培

ストックの展示栽培

- (1) 7月中旬播種 22
- (2) 7月下旬播種 23

周年出荷を見据えた品目の展示栽培

- (1) 露地栽培 24
- (2) 雨よけ栽培 25

1. 試験課題名 ちぢみホウレンソウの播種期別品種比較 (1) 9月下旬播種			
2. 目的 寒締め栽培用として販売されている品種について、一般に栽培されている「朝霧」と比較し、収量・品質を評価する。			
3. 試験年次	平成20年度～ (3年目)	4. 試験予定期間	9月～ 12月
5. 供試圃場区分	4-②	6. 前作物	ゴボウ
7. 試験方法 (1) 供試品種 ①朝霧 (渡辺採種場) ②雪美菜 (雪印) ③寒味 (トキタ) ④冬霧7 (渡辺採種場) (2) 試験規模 1区 5.6 m ² (132株) 2反復 供試面積 44.9 m ² (3) 耕種概要 ア 播種期 9月下旬 イ 収穫期 12月下旬 ウ 栽植距離 畦幅 170cm、 床幅 120cm、 条間 20cm、 株間 15cm、 6条植え エ 施肥量 (a 当り) N 2.0 kg, P ₂ O ₅ 1.4 kg, K ₂ O 1.9 kg			
8. 調査項目 全重、調整重、葉数、最大 (葉長、葉幅)、葉色、糖度等			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 ちぢみホウレンソウの播種期別品種比較 (2) 10月上旬播種			
2. 目的 寒締め栽培用として販売されている品種について、一般に栽培されている「朝霧」と比較し、収量・品質を評価する。			
3. 試験年次	平成20年度～ (3年目)	4. 試験予定期間	10月～ 1月
5. 供試圃場区分	4-②	6. 前作物	ゴボウ
7. 試験方法			
(1) 供試品種			
	①朝霧	(渡辺採種場)	
	②雪美菜	(雪印)	
	③寒味	(トキタ)	
	④冬霧7	(渡辺採種場)	
(2) 試験規模 1区 5.6 m ² (132株) 2反復 供試面積 44.9 m ²			
(3) 耕種概要			
ア 播種期	10月上旬		
イ 収穫期	1月下旬		
ウ 栽植距離	畦幅 170cm、	床幅 120cm、	条間 20cm、株間 15cm、6条植え
エ 施肥量 (a 当り)	N 2.0 kg, P ₂ O ₅ 1.4 kg, K ₂ O 1.9 kg		
8. 調査項目			
全重、調整重、葉数、最大 (葉長、葉幅)、葉色、糖度等			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 ちゃ豆の品種比較 (1) 極早生種の比較			
2. 目的 早期出荷の価格が高いことから早獲りが期待されるちゃ豆について、低温期の栽培に適する極早生品種を選定するため、収量・品質を調査する。			
3. 試験年次	平成 21 年度～ (2 年目)	4. 試験予定期間	4 月～ 7 月
5. 供試圃場区分	4-③	6. 前作物	レタス
7. 試験方法			
(1) 供試品種			
①茶々丸	(原育種園)	⑥はやいっ茶	(渡辺採種場)
②魁ハニー	(原育種園)	⑦イチバン茶	(渡辺採種場)
③夏の声	(サカタ)	⑧福成	(タキイ)
④夏の夕	(サカタ)	⑨茶福	(トキタ)
⑤夏の調べ	(サカタ)	⑩早生香姫	(協和)
(2) 試験規模 1 区 3.7 m ² (26 株) 供試面積 73.9 m ²			
(3) 耕種概要			
ア 播種期	4 月上旬		
イ 定植期	4 月中旬		
ウ 収穫期	7 月上旬		
エ 栽植距離	畦幅 140cm、床幅 90cm、条間 45cm、株間 20cm、2 条植え グリーンマルチ		
オ 施肥量 (a 当り)	N 1.3kg, P ₂ O ₅ 0.8 kg, K ₂ O 2.0kg		
8. 調査項目			
発芽勢、開花期			
収穫期：主茎長、分枝数、収量、多粒莢率、未熟莢率、品質等			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 ちゃ豆の品種比較 (2) 中生種の比較			
2. 目的 現在、枝豆が旬の8月中旬は緑豆主体に出荷されているが、市場からの要望やちゃ豆産地として連続した出荷体制を整えるため、8月中旬穫り栽培に適する中生品種を選定する。			
3. 試験年次	平成 21 年度～ (2年目)	4. 試験予定期間	5月～ 8月
5. 供試圃場区分	4-③	6. 前作物	レタス
7. 試験方法			
(1) 供試品種			
	①晩酌茶豆 (武蔵野)	⑥茶香り	(渡辺採種場)
	②越後ハニー (原育種園)	⑦小平方	(渡辺採種場)
	③味一番 (原育種園)	⑧香姫	(協和)
	④香里 (丸種)	⑨越後茶香り	(米三)
	⑤味太郎 (雪印)	⑩うまいっ茶	(米三)
(2) 試験規模 1区 4.6 m ² (18株) 供試面積 92.4 m ²			
(3) 耕種概要			
ア	播種期	5月下旬	
イ	定植期	6月上旬	
ウ	収穫期	8月中旬	
エ	栽植距離	畦幅 70cm、株間 35cm	
オ	施肥量 (a 当り)	N 0.5 kg, P ₂ O ₅ 0.5 kg, K ₂ O 1.0 kg	
8. 調査項目			
発芽勢、開花期			
収穫期：主茎長、分枝数、収量、多粒莢率、未熟莢率、品質等			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 短根ごぼうの品種比較			
2. 目的 ゴボウの市場単価が高くなる12月～2月に、掘り取りが容易な短根種の冬期出荷に向け、品種を検討する。			
3. 試験年次	平成 21 年度～ (2年目)	4. 試験予定期間	9月～ 2月
5. 供試圃場区分	2-①	6. 前作物	仙台芭蕉菜
7. 試験方法			
(1) 供試品種			
	①てがるゴボウ (柳研育成)	⑤サラダむすめ	(タキイ)
	②簡単ゴボウ (渡辺採種場)	⑥コバルト極早生	(柳川)
	③百日一尺 (渡辺農事)	⑦大浦太	(千葉県在来)
	④ダイエット (サカタ)		
(2) 試験規模 1区 1.4 m ² (20株) 供試面積 19.6 m ²			
(3) 耕種概要			
ア 播種期	9月上旬	9月中旬	9月下旬
イ 収穫期	12月下旬	2月下旬	
ウ 栽植距離	畦幅 70cm、株間 10cm		
エ 施肥量 (a 当り)	N 2.0 kg, P ₂ O ₅ 1.4 kg, K ₂ O 1.9 kg		
8. 調査項目			
調整重、根長、根径、品質、特性等			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 レタスの品種比較 (1) 7月下旬播種			
2. 目的 この作型は、育苗期の高温による抽台や、台風・秋雨等の多湿による腐敗等の病害が発生しやすい。このため、品種ごとの特性を調査し、抽台や病害の発生が少ない良質で安定した収量を得られる品種を選定する。			
3. 試験年次	平成 22年度～ (1年目)	4. 試験予定期間	7月～ 9月
5. 供試圃場区分	4-①	6. 前作物	エダマメ
7. 試験方法			
(1) 供試品種			
①パトリオット	(日東農産)	⑦サウザー	(タキイ)
②マイケル	(清水種苗)	⑧マイヤー	(住化農業資材)
③早生サリナス	(渡辺採種場)	⑨スパーク	(渡辺農事)
④シニア	(ツルタ)	⑩かさま 9251	(日東農産)
⑤オンタリオ	(サカタ)	⑪サクセスクラシック	(ツルタ)
⑥オリンピア	(ミカド)	⑫ジャングル	(清水種苗)
(2) 試験規模 1区 3.1 m ² (18株) 供試面積 89.8 m ²			
(3) 耕種概要			
ア 播種期	7月下旬		
イ 定植期	8月中旬		
ウ 収穫期	9月下旬		
エ 栽植距離	畦幅 170cm、床幅 120cm、条間 35cm、株間 30cm、3条植え 黒マルチ		
オ 施肥量 (a 当り)	N 1.3kg, P ₂ O ₅ 1.1kg, K ₂ O 1.3kg		
8. 調査項目 全重、調整重、外葉数、球の大きさ (球高、球幅)、異常球率、抽台、その他特性等			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 レタスの品種比較 (2) 8月上旬播種			
2. 目的 この作型は通常の作型で、栽培が比較的容易である。このため、品種ごとの収量・特性を調査し、収量・品質の優れた品種を選定する。			
3. 試験年次	平成 22 年度～ (1 年目)	4. 試験予定期間	8 月～ 10 月
5. 供試圃場区分	4-①	6. 前作物	エダマメ
7. 試験方法			
(1) 供試品種			
①パトリオット	(日東農産)	⑦サウザー	(タキイ)
②マイケル	(清水種苗)	⑧マイヤー	(住化農業資材)
③早生サリナス	(渡辺採種場)	⑨スパーク	(渡辺農事)
④シニア	(ツルタ)	⑩かさま 9251	(日東農産)
⑤オンタリオ	(サカタ)	⑪サクセスクラシック	(ツルタ)
⑥オリンピア	(ミカド)	⑫ジャングル	(清水種苗)
(2) 試験規模 1 区 2.0 m ² (16 株) 供試面積 67.3 m ²			
(3) 耕種概要			
ア 播種期	8 月上旬		
イ 定植期	8 月下旬		
ウ 収穫期	10 月上旬		
エ 栽植距離	畦幅 170cm、床幅 120cm、条間 30cm、株間 30cm、4 条植え 黒マルチ		
オ 施肥量 (a 当り)	N 1.3kg, P ₂ O ₅ 1.1kg, K ₂ O 1.3kg		
8. 調査項目			
全重、調整重、外葉数、球の大きさ (球高、球幅)、異常球率、抽苔、その他特性等			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 仙台伝統野菜の栽培技術の確立 (1) 仙台芭蕉菜の播種期別の収穫期把握			
2. 目的 仙台芭蕉菜の栽培適期を把握するため、播種期の晩限と播種期ごとの収穫期を調査する。			
3. 試験年次	平成 20 年度～ (3 年目)	4. 試験予定期間	9 月～ 12 月
5. 供試圃場区分	2-②	6. 前作物	ネギ
7. 試験方法 (1) 供試品種 仙台芭蕉菜 (渡辺採種場) (2) 試験区別 ①9 月 10 日播種 ②9 月 20 日播種 ③9 月 30 日播種 ④10 月 10 日播種 (3) 試験規模 1 区 11.9 m ² (105 株) 供試面積 47.5 m ² (4) 耕種概要 ア 収穫期の目安 草丈 60cm イ 栽植距離 畦幅 90cm、条間 60cm、株間 25cm、2 条植え ウ 施肥量 (a 当り) N 1.5kg, P ₂ O ₅ 2.2kg, K ₂ O 1.5kg 追肥 : N 0.1kg			
8. 調査項目 生育 : 草丈、60 cm 到達日数 収穫時 : 全重、調整重、草丈、葉数、品質等			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 仙台伝統野菜の栽培技術の確立 (2) 仙台芭蕉菜の夏穫り栽培実証			
2. 目的 葉物野菜の栽培が困難な夏期に仙台芭蕉菜を栽培し、従来品目の代替としての可能性を探るため、比較調査する。			
3. 試験年次	平成 21 年度～ (2 年目)	4. 試験予定期間	6 月～ 9 月
5. 供試圃場区分	2-②	6. 前作物	ネギ
7. 試験方法			
(1) 供試品種			
実証区	仙台芭蕉菜		(渡辺採種場)
対照区	ホウレンソウ	サマービクトリー	(渡辺採種場)
	コマツナ	C R 大河	(渡辺採種場)
	ハクサイ菜	多彩菜	(宝種苗)
		ビタミン菜	(渡辺採種場)
(2) 試験区別			
① 6 月上旬播種			
② 6 月下旬播種			
③ 7 月中旬播種			
④ 8 月上旬播種			
(3) 試験規模 1 区 3.2 m ² (150 株) 供試面積 63.36 m ²			
(4) 耕種概要			
ア 収穫期の目安 仙台芭蕉菜の草丈 30cm			
イ 栽植距離 畦幅 120cm、条間 20cm、株間 7cm、4 条植え			
ウ 施肥量 (a 当り) N 1.5kg, P ₂ O ₅ 2.2kg, K ₂ O 1.5kg			
8. 調査項目			
草丈、調整重、病虫害被害程度、品質等			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 レタスのマルチ効果																							
2. 目的 市内産地での高温期栽培では、黒マルチの利用が主流になっているが、病害や生理障害による品質低下が問題となっている。これらの発生にマルチの種類や栽植株数が及ぼす影響を検討する。																							
3. 試験年次	平成 21 年度～ (2 年目)	4. 試験予定期間	7 月～ 9 月																				
5. 供試圃場区分	4-①	6. 前作物	エダマメ																				
7. 試験方法																							
(1) 供試品種 パトリオット (日東農産)																							
(2) 試験区別																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>試験区</th> <th>マルチの種類</th> <th>条間</th> <th>条数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①黒マルチ 4 条植</td> <td>黒 3 4 3 0</td> <td>30cm</td> <td>4 条</td> </tr> <tr> <td>②黒マルチ 3 条植</td> <td>黒 3 3 3 0</td> <td>35cm</td> <td>3 条</td> </tr> <tr> <td>③白黒マルチ 4 条植</td> <td>白黒 3 4 3 0</td> <td>30cm</td> <td>4 条</td> </tr> <tr> <td>④白黒マルチ 3 条植</td> <td>白黒 3 3 3 0</td> <td>35cm</td> <td>3 条</td> </tr> </tbody> </table>				試験区	マルチの種類	条間	条数	①黒マルチ 4 条植	黒 3 4 3 0	30cm	4 条	②黒マルチ 3 条植	黒 3 3 3 0	35cm	3 条	③白黒マルチ 4 条植	白黒 3 4 3 0	30cm	4 条	④白黒マルチ 3 条植	白黒 3 3 3 0	35cm	3 条
試験区	マルチの種類	条間	条数																				
①黒マルチ 4 条植	黒 3 4 3 0	30cm	4 条																				
②黒マルチ 3 条植	黒 3 3 3 0	35cm	3 条																				
③白黒マルチ 4 条植	白黒 3 4 3 0	30cm	4 条																				
④白黒マルチ 3 条植	白黒 3 3 3 0	35cm	3 条																				
(3) 試験規模 1 区 5.6 m ² (4 条 : 93 株 3 条 : 70 株) 供試面積 44.9 m ²																							
(4) 耕種概要																							
ア 播種期	7 月下旬																						
イ 定植期	8 月上旬																						
ウ 収穫期	9 月下旬																						
エ 栽植距離	3 4 3 0	畦幅 170cm、	床幅 120cm、																				
	3 3 3 0	畦幅 170cm、	床幅 120cm、																				
		条間 30cm、	株間 30cm																				
		条間 35cm、	株間 30cm																				
オ 施肥量 (a 当り)	N 1.5kg, P ₂ O ₅ 1.0kg, K ₂ O 1.3kg																						
8. 調査項目																							
定植時 : 活着率																							
収穫時 : 全重、調整重、外葉数、球の大きさ (たて径、よこ径)、異常球率																							
9. 参考文献																							

1. 試験課題名 秋獲りキャベツの施肥モデル試験 (1) 土壌分析に基づく施肥モデル			
2. 目的 施肥モデル構築のため、土壌分析に基づいた施肥施用が作物に及ぼす影響を検討する。			
3. 試験年次	平成22年度～ (1年目)	4. 試験予定期間	7月～11月
5. 供試圃場区分	4-②	6. 前作物	ハクサイ
7. 試験方法			
(1) 供試品種 YR青春2号 (渡辺採種場)			
(2) 試験区別			
項目	a 当り施肥量 N(kg)	P ₂ O ₅ (kg)	K ₂ O(kg)
①慣行区 (元肥+追肥2回)	2.5	1.5	2.5
②実証1区 (窒素は残存分を差し引き慣行量に調整)			
③実証2区 (実証1の窒素80%施用)			
④実証3区 (実証1の窒素50%施用)			
*元肥は全面施用			
(3) 試験規模 1区 14.7 m ² (20株) 供試面積 117.6 m ²			
(4) 耕種概要			
ア 播種期	7月下旬		
イ 定植期	8月中旬		
ウ 収穫期	11月上旬		
エ 栽植距離	畦幅70cm、株間35cm、1条植え(408株/a)		
8. 調査項目 元肥施用前土壌分析、生育観察、収穫時調査			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 秋獲りキャベツの施肥モデル試験 (2) 肥効調節型被覆肥料の施肥モデル			
2. 目的 施肥モデル構築のため、肥効調節型被覆肥料が作物へ及ぼす影響を検討する。			
3. 試験年次	平成22年度～ (1年目)	4. 試験予定期間	7月～11月
5. 供試圃場区分	4-②	6. 前作物	ハクサイ
7. 試験方法			
(1) 供試品種 YR青春2号 (渡辺採種場)			
(2) 試験区別			
項目	a 当り施肥量 N(kg)	P ₂ O ₅ (kg)	K ₂ O(kg)
①慣行区 (元肥+追肥2回)	2.5	1.5	2.5
②実証1区 (窒素は残存分を差し引き慣行量に調整)			
③実証2区 (実証1の窒素80%施用)			
④実証3区 (実証1の窒素50%施用)			
慣行区の元肥は全面施用 実証区の元肥はセル成型トレイ全量施用			
(3) 試験規模 1区 14.7 m ² (20株) 供試面積 117.6 m ²			
(4) 耕種概要			
ア 播種期	7月下旬		
イ 定植期	8月中旬		
ウ 収穫期	11月上旬		
エ 栽植距離	畦幅70cm、株間35cm、1条植え (408株/a)		
8. 調査項目 元肥施用前土壌分析、定植時調査、追肥時調査、生育観察、収穫時調査			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 ミニ野菜の品目展示				
2. 目的 端境期となる冬期出荷に向けて、パイプハウス栽培に適する品種を調査・展示する。				
3. 試験年次	平成 20 年度～ (3 年目)	4. 試験予定期間	9 月～ 3 月	
5. 供試圃場区分	パイプハウス⑦⑧	6. 前作物		
7. 試験方法				
(1) 供試品目				
<ul style="list-style-type: none"> ・ニンジン ・ダイコン ・ハクサイ ・キャベツ 				
(2) 試験規模				
<ul style="list-style-type: none"> ・ニンジン 1 区 3.9 m² (217 株) 供試面積 11.7 m² ・ダイコン 1 区 3.3 m² (43 株) 2 反復 供試面積 6.5 m² ・ハクサイ 1 区 3.5 m² (43 株) 供試面積 20.8 m² ・キャベツ 1 区 3.9 m² (28 株) 供試面積 23.4 m² 				
(3) 耕種概要				
品目	播種期	定植期	収穫期	栽植距離
ニンジン	1 0 / 下		3 / 下	畦幅 90cm、条間 20cm、株間 6cm、3 条植え
ダイコン	1 1 / 上		2 / 中	畦幅 50cm、株間 15cm
ハクサイ	9 / 下	1 0 / 中	3 / 中	畦幅 80cm、条間 30cm、株間 20cm、2 条植え
キャベツ	9 / 下	1 0 / 中	3 / 下	畦幅 90cm、条間 30cm、株間 30cm、2 条植え
施肥量 (a 当たり) N 1.2kg, P ₂ O ₅ 1.5kg, K ₂ O 1.3kg				
8. 調査項目				
ニンジン、ダイコン：調製重、根長、根径、抽台				
ハクサイ、キャベツ：調製重、外葉枚数、球の大きさ (たて径、よこ径)、抽台				
9. 参考文献				

1. 試験課題名 仙台伝統野菜の品目展示			
2. 目的 仙台伝統野菜について栽培・展示する。			
3. 試験年次	平成 20 年度～ (3年目)	4. 試験予定期間	月～ 月
5. 供試圃場区分		6. 前作物	
7. 試験方法 (1) 供試品種 <ul style="list-style-type: none"> ・仙台白菜 ・仙台曲がりねぎ ・仙台芭蕉菜 ・仙台長なす ・からとり芋 ・仙台雪菜 			
8. 調査項目			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 新品目の展示栽培			
2. 目的 西洋野菜や新しく販売された品目等を展示栽培する。			
3. 試験年次	平成 22 年度～ (1 年目)	4. 試験予定期間	月～ 月
5. 供試圃場区分	3-①、②	6. 前作物	
7. 試験方法			
(1) 供試品種			
○カリフラワー			
・スパイラル	(渡辺農事)	・ユーロスター	(朝日工業)
・うずまきER	(野崎交配)	・連山2号	(愛三種苗)
・黄宝	(福泉交配)	・オレンジブーケ	(タキイ)
○ビエトラ			
・ブライトライト	(タキイ)		
○リーキ			
・ポワロ	(タキイ)		
○ジャガイモ			
・インカのめざめ		・シャドークイーン	
・ノーザンルビー			
○カブ			
・あやめ雪	(サカタ)	・黄金かぶ	
○ゴボウ (短根種)			
・てがる	(柳研育成)	・ダイエット	(サカタ)
・コバルト極早生	(柳川)	・百日一尺	(渡辺農事)
8. 調査項目			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 トルコギキョウの播種期別品種比較 (1) 5月上旬播種			
2. 目的 トルコギキョウの10月採花に適した品種の検討。			
3. 試験年次	平成22年度～ (1年目)	4. 試験予定期間	平成22年5月～11月
5. 供試圃場区分	栽培温室 7号棟	6. 前作物	ストック
7. 試験方法			
(1) 供試品種 12品種			
①マシュマロピンク	(サカタ・中生・中輪・八重・桃)		
②マシュマロホワイト	(サカタ・中生・中輪・八重・白)		
③ロジーナⅢブルー	(サカタ・晩生・中輪・八重・青)		
④セレモニーオレンジ	(ムラカミ・中晩生・中大輪・八重・黄桃)		
⑤セレモニーピンク	(ムラカミ・中晩生・中大輪・八重・桃)		
⑥セレモニースノー	(ムラカミ・中晩生・中大輪・八重・白)		
⑦ノーブルジェイド	(サカタ・中生・大輪・一重・黄緑)		
⑧ノーブルバイオレット	(サカタ・中生・大輪・一重・紫)		
⑨かぐや姫	(サカタ・晩生・大輪・一重・桃)		
⑩ファンタジーローズ	(ムラカミ・中生・中輪・一重・桃)		
⑪サマーエース	(ムラカミ・中晩生・中小輪・一重・白赤覆輪)		
⑫サマーキング	(ムラカミ・中晩生・中小輪・一重・白紫覆輪)		
(2) 試験規模 1区 1.13 m ² (30株) 3反復 供試面積 40.5 m ²			
(3) 耕種概要			
ア 播種期	平成22年5月上旬		
イ 定植期	平成22年6月中旬		
ウ 収穫期	平成22年10月		
エ 栽植距離	畦幅 150cm、床幅 90cm、条間 15cm、株間 15cm、6条植え		
オ 施肥量 (a 当り)	N 1.5kg, P ₂ O ₅ 1.5 kg, K ₂ O 1.5kg		
8. 調査項目 生育、切花長、採花期、その他特性			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 トルコギキョウの播種期別品種比較 (2) 5月中旬播種			
2. 目的 トルコギキョウの10月採花に適した品種の検討。			
3. 試験年次	平成22年度～ (1年目)	4. 試験予定期間	平成22年5月～11月
5. 供試圃場区分	栽培温室 7号棟	6. 前作物	ストック
7. 試験方法			
(1) 供試品種 12品種			
①マシュマロピンク	(サカタ・中生・中輪・八重・桃)		
②マシュマロホワイト	(サカタ・中生・中輪・八重・白)		
③ロジーナⅢブルー	(サカタ・晩生・中輪・八重・青)		
④セレモニーオレンジ	(ムラカミ・中晩生・中大輪・八重・黄桃)		
⑤セレモニーピンク	(ムラカミ・中晩生・中大輪・八重・桃)		
⑥セレモニースノー	(ムラカミ・中晩生・中大輪・八重・白)		
⑦ノーブルジェイド	(サカタ・中生・大輪・一重・黄緑)		
⑧ノーブルバイオレット	(サカタ・中生・大輪・一重・紫)		
⑨かぐや姫	(サカタ・晩生・大輪・一重・桃)		
⑩ファンタジーローズ	(ムラカミ・中生・中輪・一重・桃)		
⑪サマーエース	(ムラカミ・中晩生・中小輪・一重・白赤覆輪)		
⑫サマーキング	(ムラカミ・中晩生・中小輪・一重・白紫覆輪)		
(2) 試験規模 1区 1.13 m ² (30株) 3反復 供試面積 40.5 m ²			
(3) 耕種概要			
ア 播種期	平成22年5月中旬		
イ 定植期	平成22年6月下旬		
ウ 収穫期	平成22年10月		
エ 栽植距離	畦幅 150cm、床幅 90cm、条間 15cm、株間 15cm、6条植え		
オ 施肥量 (a 当り)	N 1.5kg, P ₂ O ₅ 1.5 kg, K ₂ O 1.5kg		
8. 調査項目 生育、切花長、採花期、その他特性			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 ストックの播種期別品種比較 (1) 7月中旬播種			
2. 目的 播種期別のスプレー系品種特性を調査し、従来の施設による無加温栽培で年内切りが可能な品種を選定する。			
3. 試験年次	平成 20 年度～ (3 年目)	4. 試験予定期間	平成 22 年 7 月～12 月
5. 供試圃場区分	栽培温室 8 号棟	6. 前作物	トルコギキョウ
7. 試験方法 (1) 供試品種 12 品種 ①シャンテレッド (ムラカミ・早生) ②シャンテイエロー (ムラカミ・早生) ③シャンテラベンダー (ムラカミ・早生) ④シャンテホワイト (ムラカミ・早生) ⑤クールピンクカルテット (サカタ・早生) ⑥ピンクカルテット (サカタ・早生) ⑦サンセットカルテット (サカタ・早生) ⑧マリンカルテット (サカタ・早生) ⑨ファミリーアプリコット (ミヨシ・中生) ⑩ファミリーホワイト (ミヨシ・中生) ⑪ファミリーピンク (ミヨシ・中生) ⑫ファミリーマリン (ミヨシ・中生) (2) 試験規模 1 区 1.13 m ² (30 株) 3 反復 供試面積 40.5 m ² (3) 耕種概要 ア 播種期 平成 22 年 7 月中旬 イ 定植期 平成 22 年 8 月中旬 ウ 収穫期 平成 22 年 11～12 月 エ 栽植距離 畦幅 150 cm、床幅 90 cm、条間 15 cm、株間 15 cm、6 条植え オ 施肥量 (a 当り) N 1.5kg, P ₂ O ₅ 1.5 kg, K ₂ O 1.5kg			
8. 調査項目 生育、切花長、採花期、その他特性			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 ストックの播種期別品種比較 (2) 7月下旬播種			
2. 目的 播種期別のスプレー系品種特性を調査し、従来の施設による無加温栽培で年内切りが可能な品種を選定する。			
3. 試験年次	平成 20 年度～ (3 年目)	4. 試験予定期間	平成 22 年 7 月～12 月
5. 供試圃場区分	栽培温室 8 号棟	6. 前作物	トルコギキョウ
7. 試験方法			
(1) 供試品種 12 品種			
①シャンテレッド (ムラカミ・早生)			
②シャンテイエロー (ムラカミ・早生)			
③シャンテラベンダー (ムラカミ・早生)			
④シャンテホワイト (ムラカミ・早生)			
⑤クールピンクカルテット (サカタ・早生)			
⑥ピンクカルテット (サカタ・早生)			
⑦サンセットカルテット (サカタ・早生)			
⑧マリンカルテット (サカタ・早生)			
⑨ファミリーアプリコット (ミヨシ・中生)			
⑩ファミリーホワイト (ミヨシ・中生)			
⑪ファミリーピンク (ミヨシ・中生)			
⑫ファミリーマリン (ミヨシ・中生)			
(2) 試験規模 1 区 1.13 m ² (30 株) 3 反復 供試面積 40.5 m ²			
(3) 耕種概要			
ア 播種期 平成 22 年 7 月下旬			
イ 定植期 平成 22 年 8 月下旬			
ウ 収穫期 平成 22 年 11～12 月			
エ 栽植距離 畦幅 150 cm、床幅 90 cm、条間 15 cm、株間 15 cm、6 条植え			
オ 施肥量 (a 当り) N 1.5kg, P ₂ O ₅ 1.5 kg, K ₂ O 1.5kg			
8. 調査項目 生育、切花長、採花期、その他特性			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 ストックの開花促進技術 (1) 7月中旬播種			
2. 目的 摘心することにより開花が遅れるスプレー系品種の開花を促進するため、薬剤散布による効果を検討する。			
3. 試験年次	平成20年度～ (3年目)	4. 試験予定期間	平成22年7月～12月
5. 供試圃場区分	栽培温室 8号棟	6. 前作物	トルコギキョウ
7. 試験方法 (1) 試験区別 ①プロヘキサジオカンカルシウム塩 散布 ②無散布 *供試薬剤・処理方法 プロヘキサジオカンカルシウム塩 (商品名: ビビフルフロアブル) 本葉10～14枚期に1回目散布、1週間後に2回目散布 各回1,000倍液 100 μ g/10a 散布 (2) 供試品種 12品種 ①シャンテレッド (ムラカミ・早生) ②シャンテイエロー (ムラカミ・早生) ③シャンテラベンダー (ムラカミ・早生) ④シャンテホワイト (ムラカミ・早生) ⑤クールピンクカルテット (サカタ・早生) ⑥ピンクカルテット (サカタ・早生) ⑦サンセットカルテット (サカタ・早生) ⑧マリンカルテット (サカタ・早生) ⑨ファミリーアブリコット (ミヨシ・中生) ⑩ファミリーホワイト (ミヨシ・中生) ⑪ファミリーピンク (ミヨシ・中生) ⑫ファミリーマリン (ミヨシ・中生) (3) 試験規模 1区 0.9 m ² (24株) 供試面積 21.6 m ² (4) 耕種概要 ア 播種期 平成22年7月中旬 イ 定植期 平成22年8月中旬 ウ 収穫期 平成22年11～12月 エ 栽植距離 畦幅 150 cm、床幅 90 cm、条間 15 cm、株間 15 cm、6条植え オ 施肥量 (a 当り) N 1.5kg, P ₂ O ₅ 1.5 kg, K ₂ O 1.5kg			
8. 調査項目 生育、切花長、採花期、その他特性			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 ストックの開花促進技術 (2) 7月下旬播種			
2. 目的 摘心することにより開花が遅れるスプレー系品種の開花を促進するため、薬剤散布による効果を検討する。			
3. 試験年次	平成20年度～ (3年目)	4. 試験予定期間	平成22年7月～12月
5. 供試圃場区分	栽培温室 8号棟	6. 前作物	トルコギキョウ
7. 試験方法			
(1) 試験区別			
①プロヘキサジオカンカルシウム塩 散布			
②無散布			
*供試薬剤・処理方法			
プロヘキサジオカンカルシウム塩 (商品名: ビビフルフロアブル)			
本葉10～14枚期に1回目散布、1週間後に2回目散布			
各回1,000倍液 100 μ g/10a 散布			
(2) 供試品種 12品種			
①シャンテレッド (ムラカミ・早生)			
②シャンテイエロー (ムラカミ・早生)			
③シャンテラベンダー (ムラカミ・早生)			
④シャンテホワイト (ムラカミ・早生)			
⑤クールピンクカルテット (サカタ・早生)			
⑥ピンクカルテット (サカタ・早生)			
⑦サンセットカルテット (サカタ・早生)			
⑧マリンカルテット (サカタ・早生)			
⑨ファミリーアブリコット (ミヨシ・中生)			
⑩ファミリーホワイト (ミヨシ・中生)			
⑪ファミリーピンク (ミヨシ・中生)			
⑫ファミリーマリン (ミヨシ・中生)			
(3) 試験規模 1区 0.9 m ² (24株) 供試面積 21.6 m ²			
(4) 耕種概要			
ア 播種期 平成22年7月下旬			
イ 定植期 平成22年8月下旬			
ウ 収穫期 平成22年11～12月			
エ 栽植距離 畦幅 150 cm、床幅 90 cm、条間 15 cm、株間 15 cm、6条植え			
オ 施肥量 (a 当り) N 1.5kg, P ₂ O ₅ 1.5 kg, K ₂ O 1.5kg			
8. 調査項目			
生育、切花長、採花期、その他特性			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 ストックの栽培技術 (1) 7月中旬播種			
2. 目的 無加温栽培で年内きりするストック分枝系の、摘心期の違いが切花長や採花時期に及ぼす影響について調査・展示する。			
3. 試験年次	平成 21 年度～ (2 年目)	4. 試験予定期間	平成 22 年 7 月～12 月
5. 供試圃場区分	7-②パイプハウス	6. 前作物	
7. 試験方法			
(1) 摘心期			
①本葉 8～10 枚期・本葉 6 枚程度残し			
②本葉 14～16 枚期・本葉 10 枚程度残し			
(2) 供試品種			
①クールピンクカルテット (サカタ・早生)			
②ピンクカルテット (サカタ・早生)			
③サンセットカルテット (サカタ・早生)			
④マリンカルテット (サカタ・早生)			
⑤ファミリーアブリコット (ミヨシ・中生)			
⑥ファミリーホワイト (ミヨシ・中生)			
⑦ファミリーピンク (ミヨシ・中生)			
⑧ファミリーマリン (ミヨシ・中生)			
(3) 試験規模 1 区 0.9 m ² (24 株) 供試面積 14.4 m ²			
(4) 耕種概要			
ア 播種期 平成 22 年 7 月中旬			
イ 定植期 平成 22 年 8 月中旬			
ウ 収穫期 平成 22 年 11～12 月			
エ 栽植距離 畦幅 150 cm、床幅 90 cm、条間 15 cm、株間 15 cm、6 条植え			
オ 施肥量 (a 当り) N 1.5kg, P ₂ O ₅ 1.5 kg, K ₂ O 1.5kg			
8. 調査項目 生育、切花長、採花期、その他特性			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 ストックの栽培技術 (2) 7月下旬播種			
2. 目的 無加温栽培で年内きりするストック分枝系の、摘心期の違いが切花長や採花時期に及ぼす影響について調査・展示する。			
3. 試験年次	平成 21 年度～ (2 年目)	4. 試験予定期間	平成 22 年 7 月～12 月
5. 供試圃場区分	7-②パイプハウス	6. 前作物	
7. 試験方法			
(1) 摘心期			
①本葉 8～10 枚期・本葉 6 枚程度残し			
②本葉 14～16 枚期・本葉 10 枚程度残し			
(2) 供試品種			
①クールピンクカルテット (サカタ・早生)			
②ピンクカルテット (サカタ・早生)			
③サンセットカルテット (サカタ・早生)			
④マリンカルテット (サカタ・早生)			
⑤ファミリーアブリコット (ミヨシ・中生)			
⑥ファミリーホワイト (ミヨシ・中生)			
⑦ファミリーピンク (ミヨシ・中生)			
⑧ファミリーマリン (ミヨシ・中生)			
(3) 試験規模 1 区 0.9 m ² (24 株) 供試面積 14.4 m ²			
(4) 耕種概要			
ア 播種期 平成 22 年 7 月中旬			
イ 定植期 平成 22 年 8 月中旬			
ウ 収穫期 平成 22 年 11～12 月			
エ 栽植距離 畦幅 150 cm、床幅 90 cm、条間 15 cm、株間 15 cm、6 条植え			
オ 施肥量 (a 当り) N 1.5kg, P ₂ O ₅ 1.5 kg, K ₂ O 1.5kg			
8. 調査項目 生育、切花長、採花期、その他特性			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 周年出荷を見据えた品目の展示栽培 (1) 露地栽培			
2. 目的 トルコギキョウやストックと競合しない、4～7月に採花できる品目を展示・調査する。			
3. 試験年次	平成22年度～ (1年目)	4. 試験予定期間	平成22年10月～平成23年7月
5. 供試圃場区分	7-②	6. 前作物	
7. 試験方法 (1) 供試品種 スカシユリ・ルビーマジック (2) 試験区別 ①畦幅 150 cm 床幅 100 cm 条間 12 cm 株間 12 cm 8条植え ②畦幅 150 cm 床幅 100 cm 条間 15 cm 株間 15 cm 6条植え (3) 試験規模 ①条間 12 cm 株間 12 cm 8条植え 1区 7.2 m ² 反復 なし ②条間 15 cm 株間 15 cm 6条植え 1区 9.0 m ² 反復 なし (4) 耕種概要 ア 球根掘り上げ 平成22年10月下旬*据え置き球根 イ 定植期 平成22年10月下旬 ウ 植栽距離 試験区別とおり エ 施肥量 (a 当り) N 1.80 kg, P ₂ O ₅ 1.60 kg, K ₂ O 1.70 kg			
8. 調査項目 生育、開花、その他特性			
9. 参考文献			

1. 試験課題名 周年出荷を見据えた品目の展示栽培 (2) 雨よけ栽培			
2. 目的 トルコギキョウやストックと競合しない、4～7月に採花できる品目を展示・調査する。			
3. 試験年次	平成22年度～ (1年目)	4. 試験予定期間	平成22年10月～平成23年7月
5. 供試圃場区分	7-②	6. 前作物	
7. 試験方法			
(1) 供試品種 スカシユリ・ルビーマジック			
(2) 試験区別			
①畦幅 150 cm 床幅 100 cm 条間 12 cm 株間 12 cm 8条植え			
②畦幅 150 cm 床幅 100 cm 条間 15 cm 株間 15 cm 6条植え			
(3) 試験規模			
①条間 12 cm 株間 12 cm 8条植え 1区 7.2 m ² 反復 なし			
②条間 15 cm 株間 15 cm 6条植え 1区 9.0 m ² 反復 なし			
(4) 耕種概要			
ア 球根掘り上げ 平成22年10月下旬*据え置き球根			
イ 定植期 平成22年10月下旬			
ウ 植栽距離 試験区別とおり			
エ 施肥量 (a 当り) N 1.80 kg, P ₂ O ₅ 1.60 kg, K ₂ O 1.70 kg			
8. 調査項目 生育、開花、その他特性			
9. 参考文献			